

**THE  
KANSAI  
UNIVERSITY  
NEWS**

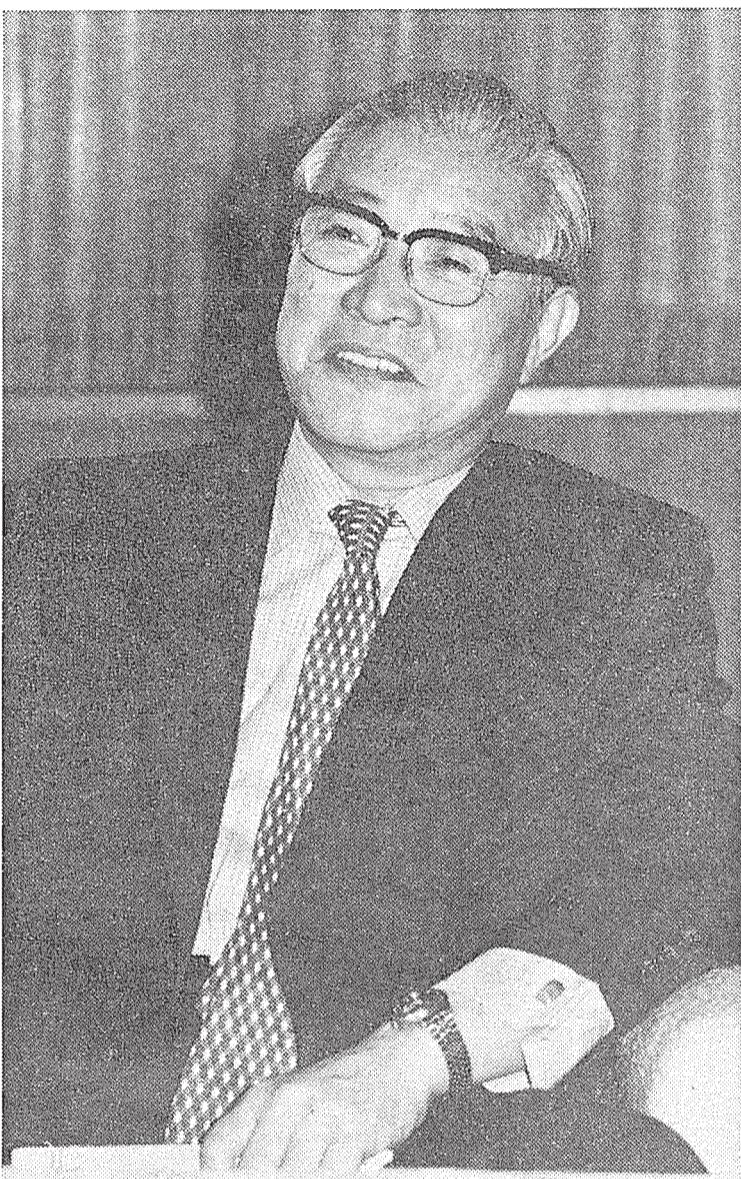
# 関西大学通信

関西大学広報委員会  
大阪府吹田市山手町3丁目

新役職者  
決まる

新しく大学の役職者が決まり、  
十月一日付で次のとおり発令され  
た。

# 新学部長決まる



# 学長就任にあたって

大西 咨男

こうして再び連ばれて、重い  
任の肩にかかるのを感じなら  
く、私はいま、大丈夫か、と  
分に問うているのです。  
して、この三年間に、私が肌  
感じた教職員一人ひとり  
教育・研究に打ち込まれる熱  
と、近年目に見えて真剣さを

「大学離れ」ということが世上で言われるようになります。それは統計的にも否定し難い事実であるのです。若者たちがそぞろの志によって、それそれ道を選むことは、それ自体はふべきことであり、ほんとうに大学で学ぼうとするものが大学へ進む」と云ふ、本来あるべき姿であります。みんなが行くから大学へ行くでは困ります。幸い、近年本学での「学生生活実態調査」に見られるところによれば、進んで関西大学を選んだ人、その学部・学科を選んだ人、ある先生を慕ってやつてきた人のバーセンテージが著実に増大して来ています。その実效も心強いものと言えます。私たち教職員の考るべきことは、どうしても大学で学はんとする意欲とを思いつかべて、まだ、大丈夫だ、と考えていろといふのです。

では私たちは何よりも心強く思いましたのは、どうすれば関西大学の教育・研究を充実させることが出来るかということについて、いたがつてないほどに、各学部、各研究所、各委員会、とりわけ「数学充実」を集中的に考えるために設けられた委員会などで、自由に意見し、率直に討論して合っていただいた。その貢献さは活発な積極性であります。その討議の成果は、既に次々と実施され、そして実行に移され、また幾つかは実行への運びにあります。大学で学ぶとする志を抱く若者の期待に、十二分に応えるとの出来る大学へ向かって、着実に前進していると信じております。

本号の内容

常に烈々たる志を

志を、どう受け入れ、いかに受けとめるかということであります。いよいよ真剣に考えて行かねばなりません。

いたんは高校から直ちに社会へ飛び込んで行った若者たち、あるいは専修学校・各種学校で技能を修得する道を選んだ若者たち、そして既に社会で活躍している人が、あらためて大学で学ぼうという志を発したとき、その志に大学としてどう応えるかという問題も、私たちをしては真剣に考えて行かねばなりません。

志したがでなかつた若者たち

志を、どう受け入れ、いかに受けとめるか」ということであります。いよいよ真剣に考えて行かねばなりません。

いたんは高校から直ちに社会へ飛びこんで行った若者たち、あるいは専修学校・各種学校で技能を修得する道を選んだ若者たち、そして既に社会で活躍している人が、あらためて大学で学ぼうとして志を発したとき、その志が大学としてどう応えるかという問題も、私たちとしては真剣に考えて行かねばなりません。

志したかでなかった若者たちの志をざるおどして出るが、わが関西大学に来てから自らの志をさらにおどすことはないのです。

大学離れという現象と併行して、社会人の生涯教育への動きは必ずしも先進的な大学とは言えなかつた国際交流の面に於ても、一、二、三年、近隣はじめ諸外国から、学究の米訪しきりであり、講演・講義・討論等々に多大の成果をもたらしてくれています。在外研究も大幅に充実されて、その成果が大きく実る日が待たれています。学生の交換も含めて、諸大学との教育・研究の交流も篤意検討中であります。太平洋に位置し、アジアの一つである日本という立場を踏まえて、汎太平洋構想とともに組成が、ひるがえっては本学の研究・教育に於ける共同研究、学際研究との教育面への反映となつて来ており、ます。与えられたる大きなければ、得るところもまた大きいわけあります。社会人たちの学生諸君の目標をしのぶだけあります。

よいかといつゝ上、常に私た  
ち教職員の考へるべき事」とてあ  
り、かしこい学生は君看  
自身の考へるべき事」とてあり  
ます。

## 本号の内容

▼1面 学長就任にあたって 新役職者決まる 千里眼▼2面 新役職者紹介 東西研 健術講演会 無料法律相談、天六学舎講演会

ひとりの努力導進を信じ  
つ、私も微力を尽くして参りな  
いと思います。

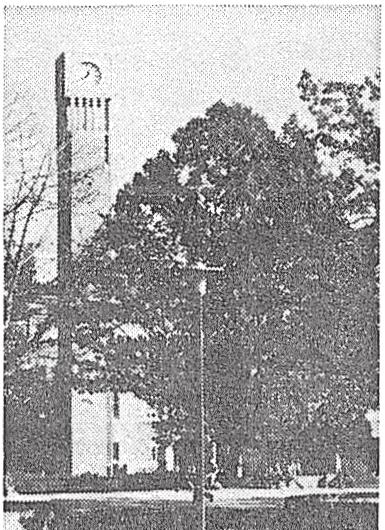






# 隨想

周知の如く大学院の建物の四階には考古学陳列室があり、陳列品の主体は本山コレクションである。いつまでおもなものが出土品をおもなものである。このコレクションの中に古代エジプトの遺物が含まれている」とはすと以前から知っていた。しかしそれらの遺物は形も小さく数もあり多くはなかったので、「エジプトのもの」であれば、何ものでも限りない愛着を貰える私たる。これらの遺物は実はあまり深く注意を払っていなかった。ところがある日、網干哲教授に考古学等資料室によばれ、資料室勤務の角田秀昭さんが手にもつ四角い石碑に刻まれた象形文字を読みてみると、これが典型的な死者への供物であるように思えた。それは典型的な死者への供物であつた。私はこれを読んで愕然とした。わが四大のよつに重要なエジプト史の資料があつたのか。そして他のエジプトの遺物の一点一点にも改めて愛着がわいてきた。



## 世界の文化

・ 大学  
・ ユニバーサル  
・ コロナ

(商学部助教授・岡部孝好)

## エジプト考古学について

加藤一朗

西の遺物は美はあまり深く注意を払っていなかった。しかし、それらの遺物は形も小さく数もあり多くはなかったので、「エジプトのもの」であれば、何ものでも限りない愛着を貰える私たる。これらの遺物は実はあまり深く注意を払っていなかった。ところがある日、網干哲教授に考古学等資料室によばれ、資料室勤務の角田秀昭さんが手にもつ四角い石碑に刻まれた象形文字を読みてみると、これが典型的な死者への供物であるように思えた。それは典型的な死者への供物であつた。私はこれを読んで愕然とした。わが四大のよつに重要なエジプト史の資料があつたのか。そして他のエジプトの遺物の一点一点にも改めて愛着がわいてきた。

こうして網干先生と角田さんの依頼、といふより御好意によって、資料室裏報「肝臓」にエジプト関係の陳列品の紹介を掲載させていただくなってしまった。上述の供養文の解説と解説は他のエジプトの遺物の一点一点にも改めて愛着がわいてきた。

西の遺物は美はあまり深く注意を払っていなかった。しかし、それらの遺物は形も小さく数もあり多くはなかったので、「エジプトのもの」であれば、何ものでも限りない愛着を貰える私たる。これらの遺物は実はあまり深く注意を払っていなかった。ところがある日、網干哲教授に考古学等資料室によばれ、資料室勤務の角田秀昭さんが手にもつ四角い石碑に刻まれた象形文字を読みてみると、これが典型的な死者への供物であるように思えた。それは典型的な死者への供物であつた。私はこれを読んで愕然とした。わが四大のよつに重要なエジプト史の資料があつたのか。そして他のエジプトの遺物の一点一点にも改めて愛着がわいてきた。

第四回

では「オシリス小神像」

の第三回に載せていただいた。

第五回では「オシリス小神像」

の第三回に載せていただいた。

第六回では「オシリス小神像」

の第三回に載せていただいた。

第六回では「オシリス小神像」